

2010年度

科目名	日本語史B		
担当教員	藤田 保幸		
配当	日文3	コード	12140
開期	後期	講時	月曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	近世日本語史の輪郭		
目的と概要	もっぱら講義形式によって、日本語史の流れをたどり、その概要を理解するとともに、各時代の言語資料の特色を理解することを目標とする。総花的に広く浅くではなく、日本語史Bでは主として近世から近現代への流れに焦点を当て、また国学等の日本語研究にも目を向ける。		
成績評価法	主として小テストの成績によって評価するが、積極的な受講も平常点として重視する。		
テキスト	『日本語史の輪郭』／藤田保幸／(私家版)		
参考書	『日本語史要説』／渡辺実／岩波書店		
履修に当たっての注意・助言	テキストは簡潔なポイントの提示と資料を中心にまとめた私家版を用い、比較的早いペースで話していくことになるので、きちんとノートをとり、復習を心掛けることが肝要である。		
講義計画			
第1回	日本語史の時代区分		
第2回	近世語の時代相		
第3～4回	国学・和学の日本語研究		
第5～6回	近世語の資料(1)(2)		
第7～8回	近世語の音韻(1)(2)		
第9回	近世語の文字表記・語彙		
第10回	近世語の文法		
第11回	近世語の方言		
第12～14回	近代語の資料と特色		
第15回	現代—日本語の動向；小テスト		